



いしおか

5・1

No. 62



提供：石岡まちづくりアカデミーⅢ

主 な 内 容

- 平成 20 年度 施政方針
和のまち いしおかの実現に向けて P2
- 11月1日～ 第23回国民文化祭
常世の国 こくぶん祭が開催 P8
- 平成 21 年度評価替えまでに
石岡地区と八郷地区の評価を統一します P12
- 5月19～25日
春の行政相談週間 P12

やくいもん 薬医門

(小 幡)

八郷地区には各地に門があり、その多くは長屋門や薬医門、四脚門よつあしです。

薬医門とは、扉を支える主柱と控柱の計4本の柱の上に冠木かぶきや梁などを組み合わせ、その上に切妻屋根を組む形式で、門の中心がやや前方に片寄っています。正面から見ると軒が深いため、ゆったりとして威厳があります。

風と時が輝く



和のまちいしおか

の実現に向けて

平成20年度石岡市長施政方針（要約）

平成20年第一回石岡市議会定例会で、横田凱夫市長は市政運営の基本方針と主要施策の大綱など新年度の施政方針を述べました。これからのまちづくりの重点的な取組みの概要について紹介します。

● 基本的な考え方

厳しい財政事情のなか、最優先事項として考えるべきものは、徹底した行政改革の推進です。

ここ数年は、悪化する財政構造を背景として、予算編成に関しては基金の取り崩しなどにより、ようやく財政収支のバランスを図るなど、危機的な状況が続いています。新年度から本格導入を図る行政評価システムをはじめめとして「石岡市行政改革実施計画」に掲げる56項目の目標達成に向けて確固とした決意で望み、自主財源の確保、歳出の見直し等を図ります。

このような状況を踏まえ、第一次石岡市総合計画に基づき「風と時が輝く『和』のまち いしおか」の実現に向けて、人と人とのふれあいと協働、暮らしと自然・歴史の調和、安心とやすらぎに包まれたまちづくりを基本理念とし、8つの政策を掲げ、これらの実現に向け、総合的かつ計画的なまちづくりを図るとともに、その具体化を推進します。

明日を拓くまちへ

本市は、豊かな自然や条件の良い交通立地、魅力的な地域資源に恵まれるなど、大きな可能性を有しています。この潜在力を大きく開花させ、産業や市民生活を向上させるには都市基盤の整備が必要条件となります。

このため第一次石岡市総合計画などを踏まえながら、石岡市都市計画マスタープランを策定し、魅力ある生活空間を創造します。

国道6号千代田・石岡バイパスや国道355号石岡・岩間バイパス、県道石岡・つくば線、県道飯岡・石岡線、県道石岡・筑西線（林地内）の各バイパスと、県道石岡・城里線等の早期完成に向けた事業の促進に努めます。

合併特例債に基づく道路整備

の事業促進や上留トンネルの早期完成、さらには常磐自動車道へスマートICを整備し社会実験を目指します。

公共交通機関の充実、市民の交通手段を確保するため、代替バスの運行の確保や、市内全域で運行している乗合いタクシー（乗合いタウンメイト）の利用促進と定着に努めます。

鹿島鉄道軌道敷きのバス専用道化の検討や、J-R石岡駅周辺

の整備基本構想を策定します。上下水道の整備では、安全で安心な水の供給に万全を期すとともに、下水道と農業集落排水の供用区域の拡大と、水洗化普及率の向上に努めます。



産業の輝くまちへ

基幹産業の水田農業においては、水田農業ビジョンの中で、産地づくり推進事業等により、生産調整の推進を図ります。

農業協同組合との連携を図りながら、認定農業者及び担い手の育成に努め、生産物の安定供給等を目的とした基盤整備促進事業等の早期完成に努めます。

商業・サービス業の振興については、新・中心市街地活性化基本計画を策定し、商業の活性化等を進めます。

観光産業の振興では、市観光協会等の各団体と共に観光事業の振興に努め、誘客を図ります。



安全で安心して暮らせるまちへ

地域ぐるみの防犯・防災の充実、消防・救急体制の高度化に対応し、「安全で安心して暮らせるまち」を目指します。

また、自動体外式除細動器

(AED)を計画的に設置し、救命率の向上を図ります。

防災対策では、有事の際の訓練内容を盛り込みながら、地域単位の防災訓練を実施します。

笑顔と元気のあるまちへ

健康づくりとして、各種検診の受診率向上を目指すとともに、特定健診の受診率を高め生活習慣の改善を促す特定保健指導を行い、医療費の抑制を図ります。

高齢者福祉については、石岡市老人福祉計画・第4期介護保険事業計画を策定します。介護保険制度の適切な運用を図るとともに「できる限り介護状態にならないように」する介護予防にも重点を置きます。

児童福祉・少子化対策については、子育てしやすい環境づくりが重要です。第3子以降の保育料の減免、中学校卒業までの入院費の助成、病後児保育の支援、障害児保育支援、不妊治療への一部助成、妊婦健診の無料化などを実施します。

八郷地区では、統合保育所建設への準備作業を進めます。

障害者福祉については、引き続き、「地域生活支援事業」を実施します。

本年4月から、新たに開始される「後期高齢者医療制度」については、適切に運用します。

人を育むまちへ

学校施設の整備・充実では、小学校の改築に着手します。

また、耐震化優先度調査の結果を踏まえ、優先順位の高い小・中学校から順次耐震診断を行います。

特色ある学校教育の推進では、児童・生徒一人ひとりの個性や能力に応じたきめ細かな指導や体験的・問題解決的な活動の充実を図ります。

本年は茨城県で国民文化祭が開催されます。本市では民俗芸能の祭典等が開催されるので、この大会を通して、市民の文化活動への参加機運を高めます。文化財の保護・保存・活用について基本方針となる石岡市文化財マスタープランを策定します。

健全な青少年を育成するため、各団体などを中心とした市民活動を支援します。

自然と調和するまちへ

自然環境の保全・共生については行政・事業者・市民が一体となって保全に努めるため、環境測定の実施や、地域住民と連携した不法投棄対策の充実、また、環境に対する市民理解の促進に努めます。住環境・都市景観等の整備では、个性的で美しい都市景観を形成するため、景観基本計画を策定します。



協働で歩むまちへ

市民との協働まちづくり条例の制定を目指し調査研究を進めるとともに、市民のまちづくり活動の実践を促進するための地域コーディネーター育成事業に着手します。

地域自治の中心を担う区・自治会との協働体制を充実させ、コミュニケーションを推進します。

効率的な行財政運営を目指して

効果的な行政の経営を進めるため「行財政改革の推進」を確固とした決意に基づき実施します。

広報紙等の発行や市民との対話を引き続き実施していくことにより、市政への参加を促進し、市民主体のまちづくりを推進します。

厳しい財政状況の中、行政運営の簡素化・効率的・効果的な行政経営を推進します。

職員に対しては、「石岡市職員人材育成基本方針」に基づき能力開発の向上に努めます。

一層市民に分かり易く利便性が向上するよう、総合窓口を設置し、庁舎サービス機能の充実を図ります。

以上が、私の平成20年度に臨む基本的姿勢と施政方針のあらましです。本市の目指すべき将来像「風と時が輝く『和』のまち いしおか」の実現に向けて、全力を挙げて取り組みます。



平成 20 年度予算

一般会計 263 億 6,000 万円

特別会計 205 億 9,236 万円

総額 **469** 億円で

平成 20 年度の一般会計予算は、263 億 6000 万円、前年度と比べ 15 億 6000 万円の増額、6.3%の伸びとなっています。国民健康保険や介護保険等の特別会計を含めた全体の予算規模では、前年度より 6.5%、32 億 3741 万円が減少し 469 億 5236 万円となっています。

一般会計の歳入では、市税が、前年度と比べ 2.4%増、2 億 5494 万円増の 108 億 9864 万円、地方交付税が前年度と比べ 6.6%減、3 億 4800 万円減少し、49 億 1100 万円、国県支出金の 36 億 8944 万円などです。

歳出の主なものとしては、保育・子育て支援対策を充実させるため、育児相談や子育てサービス事業補助や、児童福祉施設の整備補助など民生費が伸びています。また、幹線道路の整備や、スマートインターチェンジを整備し社会実験を行う経費など都市基盤整備のための土木費、東小学校改築や小・中学校校務用コンピュータの整備など教育費が前年度と比べ増加しています。

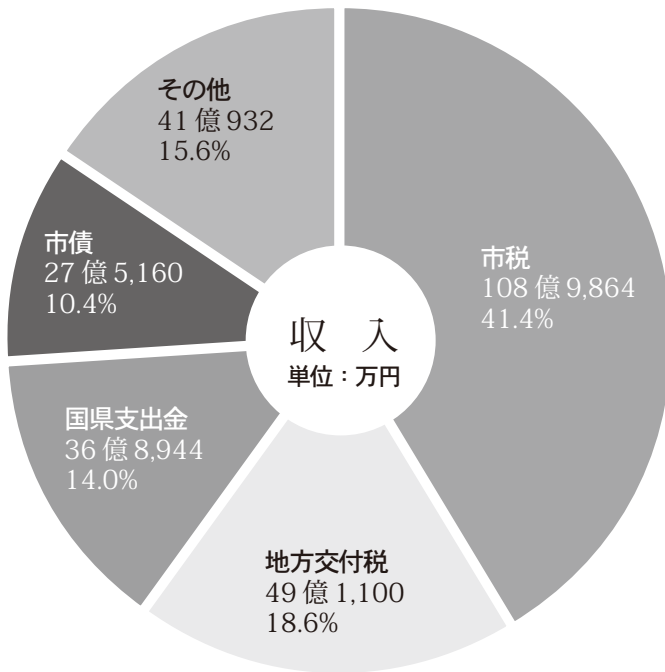
特別会計では、前年度と比べ 47 億 9741 万円減の 205 億 9236 万円となっています。主な減少の理由は、老人保健制度から、後期高齢者医療制度に移行したことによるものです。

平成 20 年度会計別予算額

(単位：万円・%)

会計別	平成 20 年度 予算額 A	平成 19 年度 予算額 B	増減額 (A-B) C	増減率 C / B × 100	
一般会計	263 億 6,000	248 億	15 億 6,000	6.3	
特別 会計	授産所	2,756	2,902	△ 146	△ 5.1
	国民健康保険	89 億 3,705	88 億 8,874	4,831	0.5
	簡易水道事業	2,389	2,157	232	10.7
	下水道事業	34 億 1,911	30 億 5,607	3 億 6,304	11.9
	駐車場	1,657	1,606	51	3.2
	老人保健	7 億 161	65 億 9,300	△ 58 億 9,139	△ 89.4
	石岡駅東土地区画整理事業	0	6,475	△ 6,475	皆減
	農業集落排水事業	7 億 2,964	10 億 1,416	△ 2 億 8,452	△ 28.1
	公共用地先行取得事業	9,925	2 億 267	△ 1 億 342	△ 51.0
	霊園事業	3,655	3,699	△ 44	△ 1.2
	介護保険	45 億 2,846	43 億 193	2 億 2,653	5.3
	介護サービス事業	2 億 2,888	2 億 1,428	1,460	6.8
	後期高齢者医療	6 億 3,898	0	6 億 3,898	皆増
	水道事業	12 億 481	9 億 5,052	2 億 5,429	26.8
特別会計 計	205 億 9,236	253 億 8,977	△ 47 億 9,741	△ 18.9	
総合計	469 億 5,236	501 億 8,977	△ 32 億 3,741	△ 6.5	

※金額は、表示単位未満を四捨五入しているため合計と一致しません。



一般会計の予算は

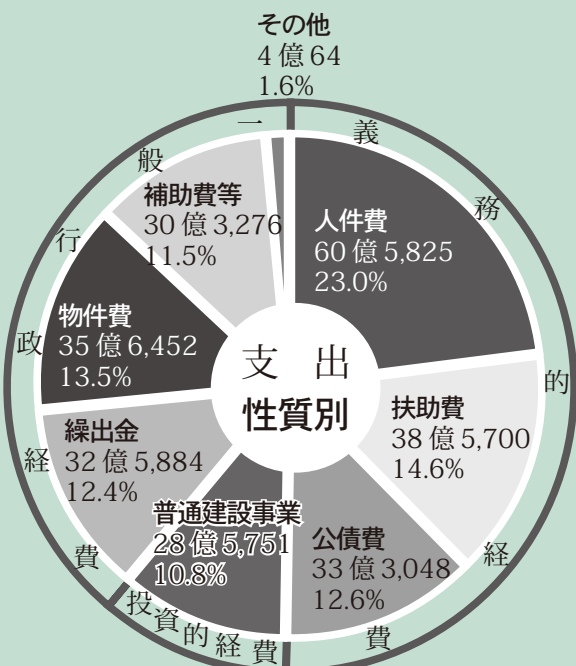
- 市税……………市民税や固定資産税などの税金
- 地方交付税……………一定水準の行政サービスを提供できるように、国から交付される交付金
- 国県支出金……………特定の事業に対する国や県からの補助金など
- 市債……………国や銀行などからの借入金
- その他……………使用料及び手数料、地方消費税交付金、分担金及び負担金、諸収入など

性質別の支出

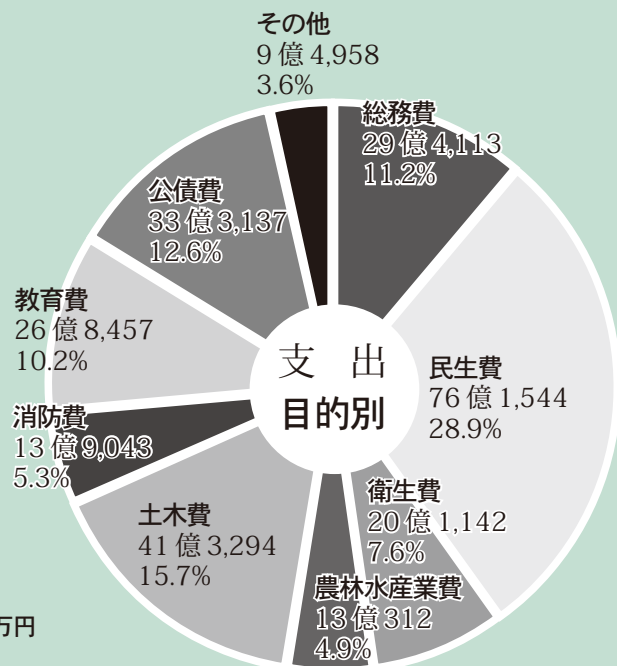
- 人件費……………職員の給与、共済費など
- 扶助費……………生活保護、児童扶養手当、老人福祉費など
- 公債費……………借り入れた市債の返済にかかる元金、利子
- 普通建設事業……………保育所、学校などの公共施設の建設、道路や公園等生活基盤の整備など
- 物件費……………施設の維持管理や運営など
- 補助費等……………団体運営や事業などに対する補助金や負担金

目的別の支出

- 総務費……………市組織の運営、徴税、選挙、統計など
- 民生費……………児童、高齢者、障害、医療福祉、生活保護など
- 衛生費……………各種検診や予防接種、ごみの収集・処理など
- 農林水産業費……………農業・林業の振興など
- 土木費……………道路や橋、公園などの整備や管理など
- 消防費……………火災や水害などから市民を守るための経費
- 教育費……………小・中学校の整備や生涯学習、スポーツ振興など
- 公債費……………公共施設整備のため、国などから借りたお金の返済に充てる経費



単位: 万円



平成20年度の主な事業

★は新規事業

明日を拓くまちへ

都市基盤の整備

○石岡駅周辺整備事業

2480万円

○合併市町村幹線道路緊急整備
支援事業

(貝地・高浜線 村上・六軒線
上林・上曽線 美野里・八郷線
駅前・東ノ辻線 八郷・新治線)

4億5440万円

○スマートインターチェンジ整
備委託料

8億9000万円



岩間・八郷線

○臨時地方法道整備事業

(恋瀬川左岸堤・北根本・東
石岡・八軒台・仏生寺・真家
ほか)

3億5900万円

○一般市道整備事業

2億2000万円

○石岡市乗合いタクシー運行事
業補助金

6000万円

★かしてつ跡地バス専用道化検
討調査委託料

1170万円

★簡易水道組合事業費補助金

153万円

産業の輝くまちへ

産業の振興

○認定農業者連絡協議会補助金

56万円

○畑地帯総合整備事業(三村・
東成井)

1950万円

○産地づくり推進事業

1億2230万円

○農道整備事業

7532万円

★森林整備担い手対策事業補助

金 108万円

○グリーンツーリズム運営経費

6007万円

○中小企業事業資金保証料補給
金

4320万円

○観光案内所運営経費

262万円

○つくばねしし鍋まつり補助金

36万円

○フラワーパーク施設整備工事

312万円

○ふれあいの森施設整備工事

252万円



そば畑

安全で安心して暮ら せるまちへ

安全な地域づくり

○健康づくり推進事業

191万円

★特定健康診査委託料

1332万円

★けやきの家施設解体・改修工
事

662万円

○高齢者等支援事業

3207万円

○在宅老人サービス事業

1127万円

○医療福祉市単独事業

1111万円



防災訓練

○安全・安心まちづくり推進事
業

256万円

○街路灯・防犯灯事業

725万円

○消防水利施設整備事業

3720万円

○防災対策経費

1062万円

○防災訓練経費

145万円

笑顔と元気のあるま ちへ

保険・医療・福祉の充実



乳幼児健診



- 児童手当経費 6億2725万円
- ★軽度障害児保育事業費補助 108万円
- 次世代育成支援対策事業補助金 4488万円
- 統合保育所整備事業 1753万円
- 少子化対策による保育料軽減額(第3子以降の保育料減免と幼稚園児保護者への支援) 2431万円
- 不妊治療費補助金 150万円
- 妊婦・乳幼児健診委託料 2747万円
- 放課後児童対策事業(市内小・中学校15校で実施) 6776万円
- 障害者自立支援給付事業 4億9765万円
- 小・中学校校務用コンピュータ整備事業 228万円
- 学校いきいきプラン推進事業(小・中学校) 1737万円
- 教育活動指導員配置事業 1782万円
- 学校教育支援事業 1743万円
- 語学指導事業 1487万円
- IT特別配置事業 2352万円
- ★耐震診断委託料(小・中学校) 2326万円
- ★東小学校校舎改築事業 7500万円
- 放課後こども教室推進事業(壬生小学校・★恋瀬小学校) 204万円
- 幼稚園教育振興事業 8670万円
- 社会教育振興事業 1078万円

人を育むまちへ
教育・文化の充実

- 生涯学習推進事業 314万円
- 文化財保護保存及び普及経費 3233万円
- 芸術・文化振興事業 366万円
- 環境美化推進事業 464万円
- 霞ヶ浦浄化対策経費 4334万円
- 水の路クリーンナップ事業 455万円
- ごみ減量・資源化推進事業 622万円
- ★景観基本計画策定業務委託料 880万円
- 環境美化推進事業 464万円
- 霞ヶ浦浄化対策経費 4334万円
- 水の路クリーンナップ事業 455万円
- ごみ減量・資源化推進事業 622万円
- ★景観基本計画策定業務委託料 880万円



- 国民文化祭開催事業経費 1130万円
- 青少年育成事業 730万円
- 子供会育成事業 271万円
- 体育振興活動経費 1290万円
- スポーツイベント事業 496万円
- 環境美化推進事業 464万円
- 霞ヶ浦浄化対策経費 4334万円
- 水の路クリーンナップ事業 455万円
- ごみ減量・資源化推進事業 622万円
- ★景観基本計画策定業務委託料 880万円

自然と調和するまちへ
環境共生・循環型社会の構築



協働で歩むまちへ
住民と行政との協働

- 区長自治連合会補助金 196万円
- 男女共同参画推進事業 107万円
- ふれあい交流事業 707万円
- ★市民との協働まちづくり条例制定事業 100万円
- 環境美化推進事業 464万円
- 霞ヶ浦浄化対策経費 4334万円
- 水の路クリーンナップ事業 455万円
- ごみ減量・資源化推進事業 622万円
- ★景観基本計画策定業務委託料 880万円



効率的な行財政運営
をめざして
行財政改革の推進

- 行革推進経費 118万円
- 広報活動経費 1808万円
- 市民相談経費 269万円
- ★総合窓口設置経費 1200万円

11月1日～ 第23回国民文化祭・いばらき2008 常世の国こくぶん祭が開催

平成20年11月1日(土)～9日(日)
にかけて、茨城県内の各地を会場に「第23回国民文化祭・いばらき2008」が、開催されます。

国民文化祭は、文化庁が主催する全国規模の文化の祭典です。

昭和61年から、毎年、各都道府県が持ち回りで開催しています。今回は、茨城県が開催県となり、県内各地において、各種イベントやフェスティバルを計画しています。



国民文化祭とは？

全国で活動している文化・芸術活動の愛好者や団体が一堂に会して、音楽や演劇、伝統文化の競演を繰り広げたり、一般公募により出品された文芸や美術作品の展示、さらに開催地独自の文化・芸術イベントなどを行う、国内最大の文化・芸術の祭典です。

茨城県には、地理的、歴史的背景によって培われた、さまざまな特色ある文化が一定の広がりを持って存在しているので、会期中は県内全域でさまざまなフェスティバルが開催されます。

また、県外からも多数の出演

者や観客の方々が茨城県を訪れますので、茨城県の文化・芸術活動や文化資産に触れてもらうことにより、茨城県のイメージアップにもつながります。

茨城の文化、そして全国のさまざまな魅力ある文化・芸術に触れることができる機会です。

大会テーマ

常世の国

筑波嶺 翔ける

文化のいづき

茨城県は、昔から気候風土が穏やかで生活しやすく、常陸国風土記にも「古の人、常世の国といへるは、此の地ならむか」と記されています。

また、筑波山は、古くから周辺の国々からも仰ぎ見られ、歌にも詠まれてきた名山であり、長い間多くの人々に親しまれてきました。

国民文化祭では、古代の姿そのままに聳える筑波山をいたたく本県で、多くの人々の出会いと交流を通して生まれた文化のいづきを、国内外へ力強く発信します。

シンボルマーク



文化は人間の知恵であり、秩序ある生活との結合です。このシンボルマークは、限りなく広がる文化へのあこがれを、歓喜の人形(かた)の構成でイメージしたデザインです。日本古来の古式紫を基調に、明るさを加えて、新しい日本の未来色をイメージにした色彩です。

大会マスコット



「ハッスル黄門」は、水戸黄門を表す「黄門」という呼び名が茨城県の象徴として全国的に人気が高く、国民文化祭が茨城県で行われることを広く、早く伝える力をもつ愛称です。

石岡市では『都々逸言の葉まつり』 『獅子舞フェスティバル』が開催



▲ 都々一坊扇歌堂

筑波嶺と万葉文化 フェスティバル 『都々逸言の葉まつり』

「都々一坊扇歌」終焉の地である石岡を舞台に、全国の都々逸に親しむ人々から作品(作詩・唄)を募集し、唄の部のコンクールや入賞作品(作詩)の発表を行います。

日時 11月1日(土)・2日(日)
場所 石岡市民会館

募集内容

◇作詩の部

- ・自由句
- ・折句「い・し・お・か」
- ※一人2句までになります。

◇唄の部

- ・課題曲「たんと売れても 売れない日でも 同じ機嫌の風車」
- ・自由曲(古典曲・既存曲可)

※唄の部の募集人員は、先着100名となります。

応募費用 1000円

応募期間 5月1日(木)～7月31日(木)

応募方法 申込書に記入のうえ、郵送してください。また、インターネット(<http://www.city.ishikawa.jp>)での応募も可能です。申込書は文化振興課に備えてあります。

その他 特別ゲストによるアトラクションも予定しています。

『獅子舞フェスティバル』

市内の獅子舞や県外の獅子舞などを招いて、「獅子舞フェスティバル」を開催します。同時に、県主催の「郷土民俗芸能の



石岡は都々一坊扇歌 終焉の地

都々一坊扇歌は、文化元年(1804)久慈郡佐竹村磯部(現常陸太田市)に生まれ、江戸末期に都々逸を広めました。反骨精神にとんだ世相を風刺した都々逸節は、江戸民衆の心をとらえ、江戸一番の寄席芸人になりました。その後、「上は金 下は杭な

し 吾妻橋」という幕府批判の狂句により嘉永3年(1850)に江戸追放の処分を受け、常陸国府(現石岡市)の姉の家に身を寄せ、嘉永5年(1852)に病没しました。石岡市の国分寺に墓があり、境内には扇歌をまつった六角形の扇歌堂があります。



▲ 土橋獅子舞保存会 (出演予定)



▲ 富田町ささら獅子保存会 (出演予定)

集い」も共同開催され、本県の代表的な郷土芸能が併せて堪能できます。

日時 11月8日(土)
午前9時30分

場所 石岡市石岡運動公園

出演団体 県外・市内の11団体が出演する予定です。他に特別ゲストとして、韓国の伝統舞踊を招きます。会場内には、地元物産品の販売なども予定しています。

※会場へは、シャトルバスを用意します。

■ 国民文化祭についての問い合わせや申し込みは、
教育委員会文化振興課

☎ 43・1111 (内1232)

まちの 話題 できごと

市内の中学校を

798人の生徒が卒業

晴天に恵まれた3月11日、市内の中学校8校で卒業式が行われ、798人の生徒が卒業しました。



▲会場出口で握手で見送る村山校長（写真左）と卒業生

城南中学校でも、80人の生徒が、市長をはじめ多くの来賓や保護者、在校生の見守りなか、卒業式を迎えました。村山憲司校長から「卒業は終りではなく始まりです。旅立つ皆さんに校訓にもある『協力』と『挑戦（チャレンジ）』の言葉を贈ります。人との協力の中に人間の素晴らしさがあり、常に自分の可能性を信じ挑戦することが大切です。これからの人生をプラス思考で前向きに生きてほしい」とはなむけの言葉が贈られました。

在校生との、歌の交換では、歌声にすすり泣きの声も混じっていました。

卒業生の退場の際には、村山校長が会場の出口で卒業生一人ひとりと握手をかわし、祝福の

言葉をかけながら見送っていました。

ひな巡りに市内外から1万人が来訪



▲「まち蔵藍」の2階で、ひな人形やつるし雛にうっとり…

2月2日から3月3日まで、市内の活性化を目的に、中心市街地を会場に、石岡ひな巡りが開催されました。

期間中、会場のあちこちで、大道芸やお囃子が披露されたり、人力車が街を走ったり、甘酒が無料で配られたり、ウォークラリーが行われたり…。駅前には産直野菜などを扱うアンテナショップが開設されるなど、さまざまなイベントが行わ

れました。

休日には、市街地を地図やカメラを手に友人や家族たちと談笑しながら歩く姿が、あちらこちらで見られました。

お宮参りの帰りに、家族で「まち蔵藍」に立ち寄ったという方は「孫が女の子なので、お宮参りの日にこんなきれいなひな人形を見ることができて嬉しいです」と喜んでいました。

およそ1か月のひな巡り期間中、延べ1万人の方が、ひな人形を鑑賞に、中心市街地を訪れました。

WINDSが全国体操小学生大会で金賞に！

3月27日、大洗町文化センターで、第8回全国体操小学生大会が開催されました。この大会に、茨城県代表として市内の小学生で構成する「WINDS新体操クラブ」チームが出場しました。

この大会は、体操の普及発展を目指し、併せて児童の健全育

成を図ることを目的に、毎年開催されています。

同チームは、団体体操（徒手を基本とした自由演技）の部で、全国からエントリーした15チームのうち、最高10点満点中、最高点9・8点を獲得して、昨年に引き続き見事金賞を受賞しました。

選手の方の今後の活躍が期待されます。

★WINDS新体操クラブチームメンバー（写真左より）

ムメンバかねと（写真左より）

金かねと（南小5年）

石いし井まなみ 愛美（高浜小5年）

池田 理帆（東小4年）

佐藤 そら（石岡小6年）

今泉 あずさ（杉並小6年）

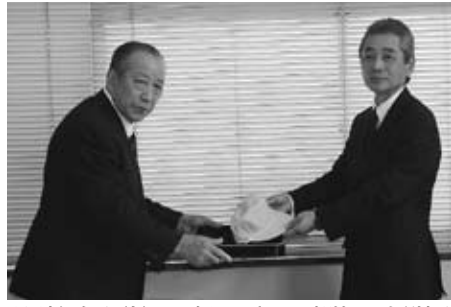
※学年は大会当時のもの。

（敬称略）



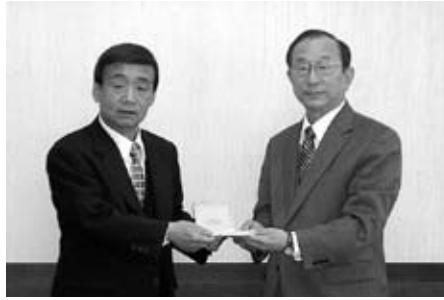
▲金賞を受賞した「WINDS新体操クラブチーム」

J Aから新入学児に 黄色い帽子が寄贈



▲坂本組合長（左）から帽子を受け取る櫻井石岡小学校長

▼大槻専務理事（左）から帽子を受け取る石橋教育長



ひたち野農業協同組合（坂本馨組合長）と、やさど農業協同組合（田村和夫組合長）から、市内の新小学1年生に、交通安全の黄色い帽子が775個寄贈されました。

この帽子は、「子どもたちが

交通事故にあわずに元気に通学できますように」との願いを込めて、毎年新入学児に贈られています。

寄贈された帽子は、各小学校の入学式の日、担任の先生から新入学児に手渡されます。

これから、市内各地で大きなランドセルを背負い、黄色い帽子をかぶった新1年生が元気に小学校へ通学します。

スポーツ振興奨励表彰 を3団体と19人が受賞

3月18日、石岡運動公園体育館において、平成19年度石岡市スポーツ振興奨励表彰が行われました。この表彰は、技術がきわめて優秀であり、県大会以上の大会で優秀な成績を収め、市のスポーツ水準の向上に貢献した団体や個人に対して贈られるものです。

今年度は、3団体と19人が該当し、奨励表彰を受賞しました。

◎受賞団体と受賞者は、次の方々です。（敬称略・順不同）

【団体の部】

- ・石岡市体育協会ゲートボール部
- ・石岡商業高等学校弓道部
- ・城南中学校バドミントン部



▲平成19年度石岡市スポーツ振興奨励表彰受賞者（石岡運動公園体育館にて）

【個人の部】

- ・清水 満
- （石岡第二高等学校教諭・体操）
- ・中根 奈津美
- （石岡商業高等学校弓道部）
- ・水谷 愛美
- ・仲田 圭佑
- （城南中学校バドミントン部）
- ・酒井 愛
- （府中学校バドミントン部）
- ・飯村 梨衣子

（石小地区バドミントン）

- ・佐藤 諒汰
- ・浅賀 未久

（東少年バドミントン）

- ・浅野 敦史・森 混一郎
- ・七谷 真穂・高栖 菜摘
- ・山本 梓帆・中川 楓香

（城南中学校バドミントン部）

- ・川崎 泰・栗原 尚希
- ・黒沢 馨・風間 俊宏
- ・友水 豪志

（石小地区バドミントン）

関川小の食育講演会 に100人が参加

2月28日、関川小学校体育館で「じょうぶな子どもをつくる基本食」という演題で、幕内秀夫さんを講師に、PTA主催の講演会が開催されました。

当日は、保護者をはじめ学校関係者や市PTA連絡協議会の方など約100人が講演会に訪れ、講師の話に耳を傾けました。

講演のなかで、「食生活が乱れている現代、家庭で食生活を改善するのが本来だが、子どもは3食のうち1食を学校給食でとっている。だから子どもにとって学校給食は、最高の食育の場。食生活を良くするために

は、学校給食を改善するのが早道」と話していました。



▲講演する幕内秀夫さん

府中女性の会が折り紙のつるし雛を展示

2月5日から3月8日まで府中地区公民館に、府中女性の会が子どもたちの健やかな成長を願い、折り紙で作ったつるし雛を展示しました。

この作品は、府中女性の会の会員が、昨年の5月から少しずつ折りためたものです。

公民館の入口に飾られたつるし雛に、訪れた方々は「きれいだね」「かわいいね」など話しながら鑑賞していました。



▲天井からつるされたつるし雛

まちづくりにも活かそう、あなたの税!

平成21年度評価替えまでに

石岡地区と八郷地区の

評価を統一します

固定資産税は、固定資産の価格「適正な時価」を課税標準額として課税します。

このため、本来であれば毎年評価替えを実施し、「適正な時価」をもとに行うことで、納税者間における負担の公平性を保つこととなりますが、膨大な量の土地、家屋に対して、毎年度評価を見直すことが困難なため、土地と家屋は原則として3年間評価額を据え置き、3年ごとに評価額を見直す制度がとられています。

評価替えは、この間における資産価格の変動に対応し、評価額を適正で均衡のとれた価格に見直す制度といえます。



次の評価替えは、平成21年度です。このときの評価替えとあわせ、平成17年10月1日合併後の石岡地区と八郷地区の評価の不均衡について、統一を図っていきます。

今年の 申告相談は1万件

2月18日から3月17日まで実施した確定申告では、9635件の申告相談がありました。

申告初日は、例年どおり、早朝から長蛇の列ができましたが、今年を受付順をめぐつてのトラブルもなく、開始することができました。また、農業申告者のほとんどの人が「収支計算書」を記入してくれましたので、大幅に待ち時間の短縮ができました。今後、ご協力をお願いします。

3月の差押件数

不動産	4件
預金	26件
自動車登録	1件
所得税還付	90件
合計	121件
H19年度合計	473件

5月1日 税務署での面接相談は 予約が必要です

5月1日(木)から、国税に関する相談のうち、内容が複雑で事実関係を確認する必要が有る相談等には、事前に税務署に電話予約が必要になります。国税に関する相談を希望する方は、まず電話で問い合わせください。

問い合わせ 土浦税務署
☎029・822・1100

休日納税相談・納付受付

毎週土曜日(年末年始を除く)
午前9時～午後4時30分
夜間納税相談・納付受付
毎週水曜日(年末年始・祝日を除く) 午後5時30分～7時

詳しくは市役所収納特別対策室
☎23・1111(内112)

お気軽に相談ください 行政にあなたの声を届けます

5月19～25日 春の行政相談週間

春の行政相談週間(5月19日(月)～25日(日))が始まります。毎日の暮らしの中で、「わかりづらい道路案内標識を改善してほしい」、「郵便ポストを設置してほしい」、「施設をバリアフリー化してほしい」など、困っていること、望んでいることありませんか? こんな時、行政相談委員にご相談ください。皆さまの声を行政にお届けします。

人が、行政相談委員として活動しています。お気軽に相談ください。

行政相談所に関する問い合わせ
市役所秘書広聴課
☎23・1111(内210)

行政相談委員に関する問い合わせ
総務省茨城行政評価事務所
行政相談課
☎029・221・3347

※課内には、行政筆情110番
(相談専用電話)として、
☎0570・090110
も設置しています。

石岡市では、小口利夫さん(☎22・2689)と物野代悌孝さん(☎26・4657)の二

豊かな湖へ 安らかな湖へ 清らかな湖へ 河川愛護モニター募集

国土交通省では、河川をやさしく見守ってくれる河川愛護モニターを募集します。

期間 7月1日～平成22年6月30日

応募資格 霞ヶ浦付近に住んでいる満20歳以上の方

活動内容 日常生活の範囲内で知り得た情報を河川管理者に伝えること、年1回程度のモニター会議への出席、地域住民への河川愛護思想の普及啓発活動など

謝礼 実費程度

応募締切 5月9日(金)

※詳しくは問い合わせ先または市役所窓口
に備えてある応募要領をご覧ください。

問い合わせ

国土交通省 霞ヶ浦河川事務所

☎0299-63-2419

◆ 八郷たんぽぽの会 ◆



▲活動の合間に、マスクをはずして記念撮影！

今月は、月に1回独居老人への配食サービスの食材刻みや配達などのボランティア活動をしている「八郷たんぽぽの会」を紹介します。八郷保健センターでの活動後、会長の玉造由美さんと会員の方にお話を伺いました。

◆ 主な活動は、配食サービスの手伝いです

この会は、当時民生委員をしていた会員が、地域のためにボランティア活動をしようとして、仲間を呼んで、平成7年11月に設立しました。その頃から地域に福祉施設が出来始めたので、施設の手伝いから始めることにしました。現在、34人の会員で活動しています。

主な活動は、社会福祉協議会

が行っている独居老人の安否を確認するための弁当の配食サービスの手伝いです。配達する弁当の献立や、調理は老人施設が作っています。会では、250食分の弁当に使用する野菜の下処理（洗浄・カットなど）と、調理された料理などを弁当に詰める、登録している方へ家用車で届ける活動をしています。詰め合わせと配達は、「つくしんぼの会」と一緒に行なっています。ほかに、施設の行事への参加・介助などの協力や、洗濯物のたたみ作業なども行っています。

◆ 知人に誘われたのが活動のきっかけに…

会員がボランティア活動を始めたきっかけは、友人にボランティア活動をしてないかと声をかけられ、興味があったので…
 ・知人に勧められ、断ることができず、今に至っている
 ・ボランティア活動をしたいと思っていて時に勧誘されたので…
 と、誰かに誘われて始めた方がほとんどです。始めてみると思っていたより楽しくて、いつ



▲250食分の野菜の下処理は大変です

のまにか設立から12年を過ぎていました。

◆ 会員同士のコミュニケーションが楽しみ

活動を始めてみて思うことは、人の役に立つことや、人に喜んでもらえるのでやりがいがある
 ・月一回の配食サービスや、届けに行く私たちを心待ちにしてくれるのがとても嬉しい
 ・活動をしながらの、会員同士のコミュニケーションが楽しいし、パワーをもらえる

家族の協力があるから活動できるので、ありがたい
 ・仲間と一緒に、たくさん種類の食材を刻むことが面白い
 ・忙しい合間をぬつての活動ですが、仲間に見えるのでいい息抜きにもなり、この活動ができないと寂しい
 と人により、さまざまです。でも、みんなで集まって話しをしながら、活動することが楽しみなんです。活動回数や内容も、無理せずできるのが長続きの秘訣です。

◆ 自分の健康管理をして長く続けたい

250食分の食材刻みは、その数や当日のボランティアの人数によっては時間がかかる時もあります。でも、仲間とのコミュニケーションや、待つていくくれる方の笑顔を励みに、今後もこの活動を、自分の健康管理をしながら、無理せず長く続けたいと思っています。